

## 令和6年度「新しい林業」現地検討会のお知らせ

日頃から、本学の運営につきましてご支援とご助力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、信州大学が代表支援機関である林野庁「新しい林業」経営モデル事業「川上と川下のデータ連携を柱とするコスト削減と山元還元の実証事業」の長野県コンソーシアム（代表 信州大学農学部 特任教授 加藤正人）は、スマート林業による新しい林業の展開に向け、令和6年度現地検討会を、北信州森林組合管内の木島平村カラマツ植栽地で実施します。

植林地の下刈り作業は、夏場の過酷な労働作業です。特に、植栽木が大型草本に覆われた場合は、植栽木の頭刈りなどの下刈り欠損木の発生が起きやすくなります。

そこで、国内初のホロレンズ（複合現実）による下刈り作業支援の実証を行います。

令和5年度は、主伐後にドローン計測で、地形情報と枝条集積箇所、植栽本数から植栽計画マップを作成しました。ホロレンズにこれらの情報を転送し、ホロレンズを装着した植付け作業員を植栽地にサイン表示された場所にナビゲートして植栽しました。

令和6年度は、再生造林時に作成した植栽計画マップ情報をホロレンズに転送し、ホロレンズを装着した北信州森林組合の下刈り作業員がホロレンズに表示された植栽木位置を確認して、植栽木を避けながら下刈り作業する現場を見学します。

開発目標は、作業員が下草に隠れた植栽木の位置を把握することによる作業の効率化と、頭刈りによる欠損・誤伐防止です。当日は通常の下刈り作業区との比較を行う予定です。

つきましては、「国内初」新技術による下刈り作業の省力化と誤伐防止の現地検討会を開催いたしますので、ぜひ取材いただきたくお願い申し上げます。

◆開催日時：令和6年7月17日（水）午後1時～3時（受付開始 30分前）

◆主 催：信州大学、北信州森林組合、精密林業計測

◆集合場所：長野県木島平村カラマツ植栽地 木島平ジャンプ競技場 駐車場

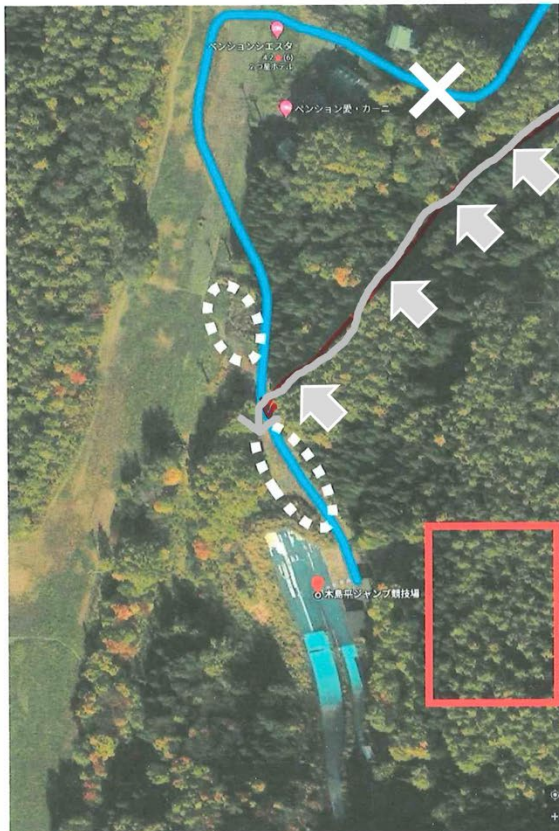
◆内容：新技術による下刈り作業の効率化と誤伐防止

- ・ 使用したドローンの展示
- ・ ドローン計測画像から植栽計画マップ
- ・ ホロレンズ紹介
- ・ 下刈り作業員がホロレンズ表示された植栽木を避けながら下刈り作業現場の見学
- ・ 質疑応答

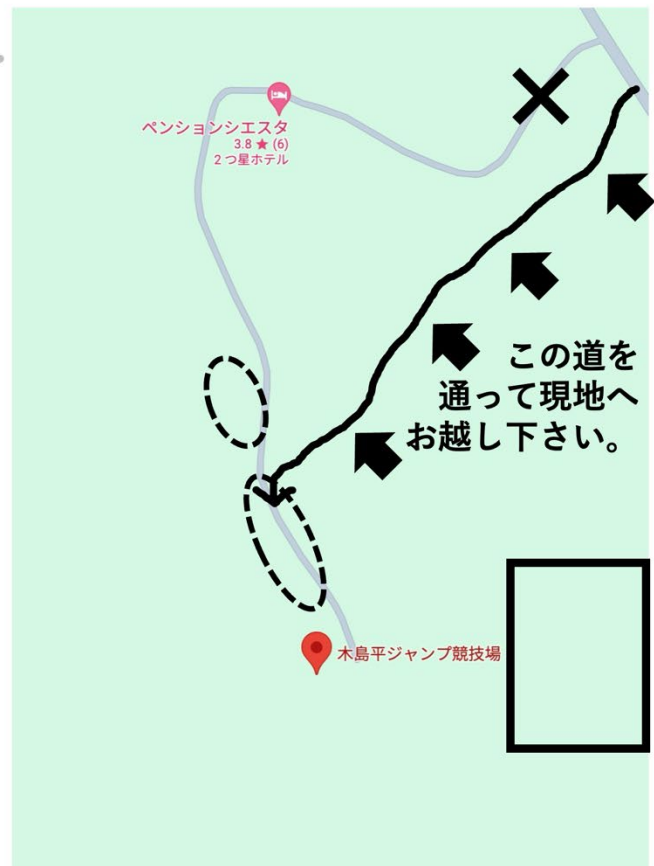
## 木島平ジャンプ競技場 駐車場

点線でかこった部分に駐車してください。 カラマツ植栽地は□

航空地図



地形図



カーナビゲーション (Yahoo!カーナビや Google マップ) で木島平ジャンプ競技場を検索してください。

### ◆本件についての問い合わせ先

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学農学部総務グループ (研究支援・産学官連携担当) (担当: 久保田)

TEL:0265-77-1305 E-mail: nsangaku@shinshu-u.ac.jp

### ◆研究に関するお問合せ先

信州大学農学部 特任教授 加藤正人

TEL:0265-77-1666 E-mail: mkatoh@shinshu-u.ac.jp